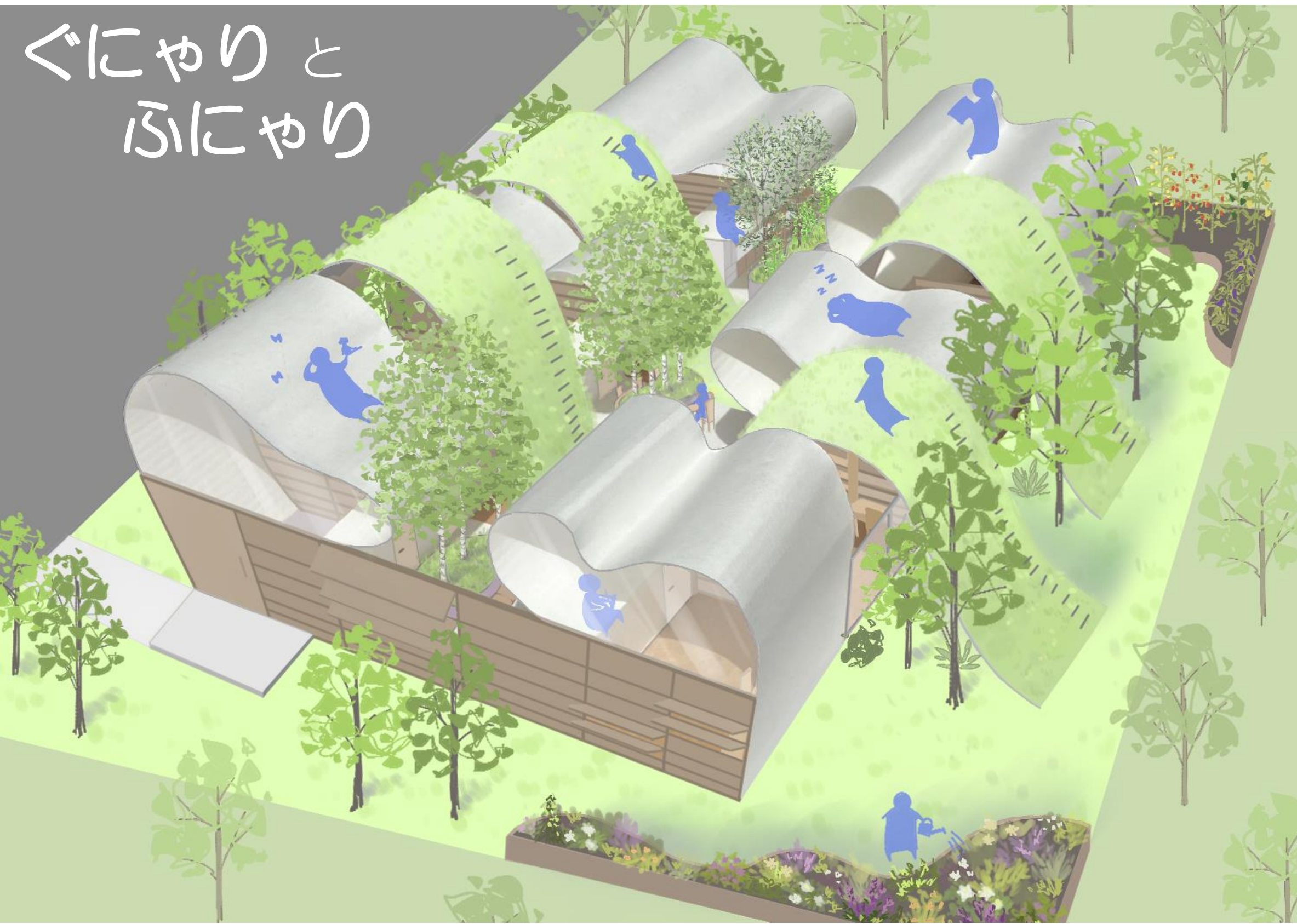
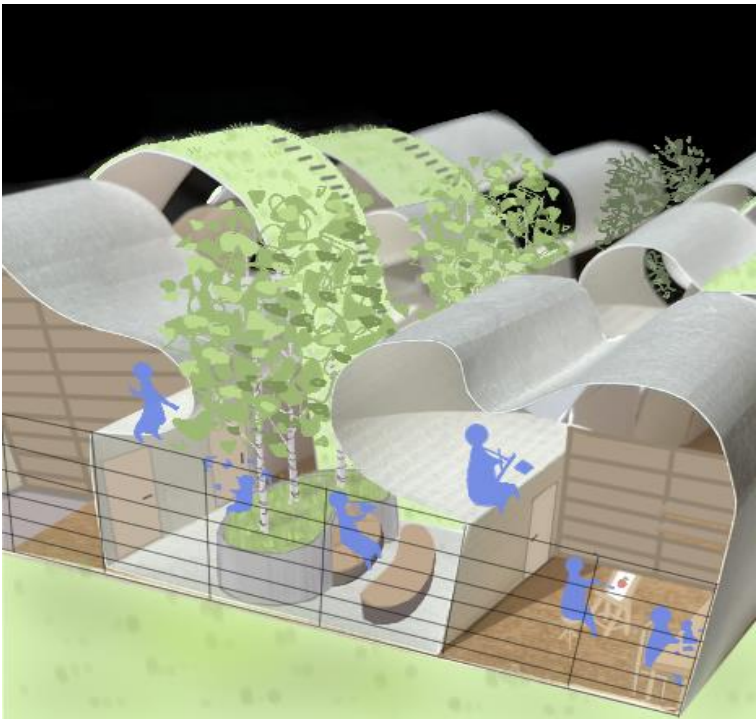
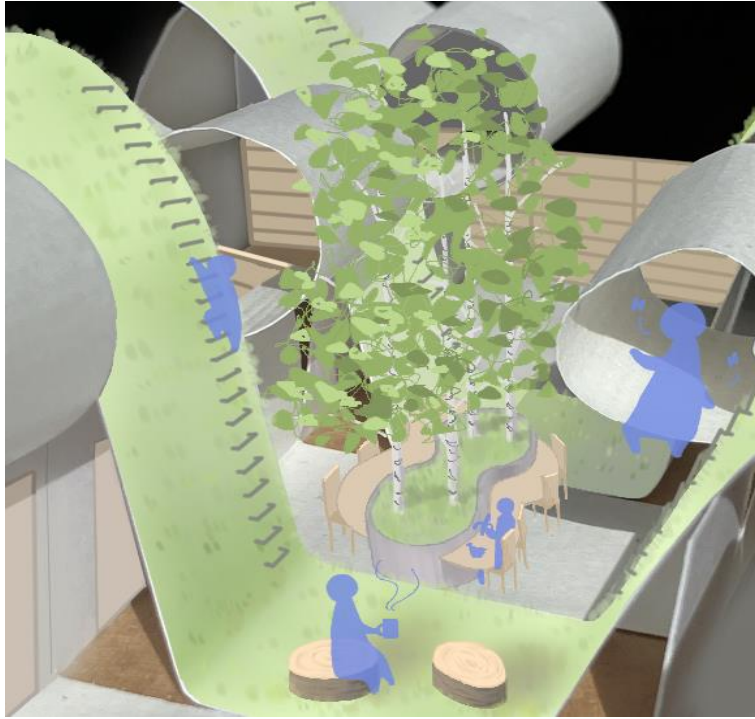




●内観パース



①リビング



③ダイニング



⑤キッチン



②、⑤子供室



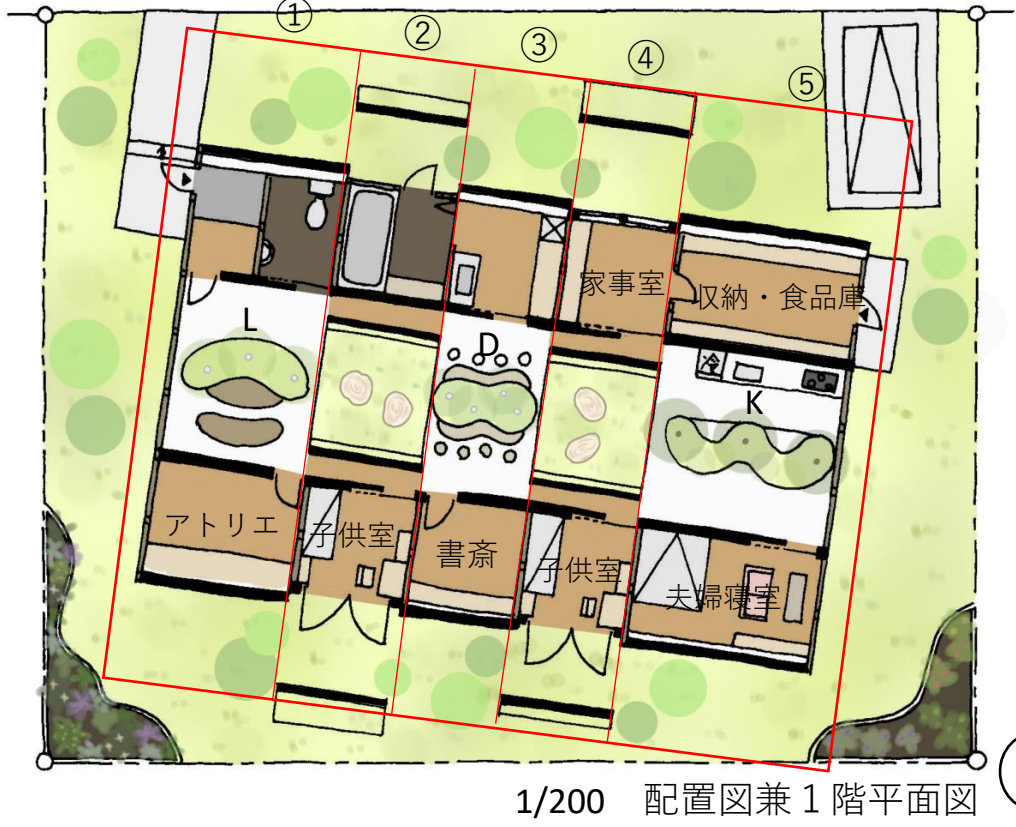
④家事室

●断面図



●コンセプト

デジタル化が進み生活が便利になる一方、ゲームやスマホを使用して室内で遊ぶ子供が増加し続けている。それにより、子供の身体活動・経験の減少や視力低下などが問題となっている。この問題を解決・改善するため、「ぐにやり」・「ふにやり」・軽井沢の自然を通して時の流れとともに子供の創造力を育む家を提案する。

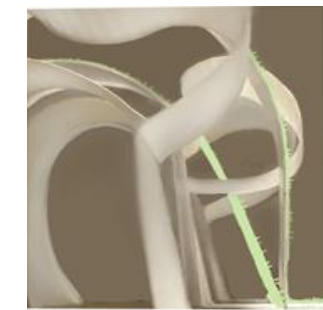


1/200 配置図兼1階平面図

●時とともに子供が成長

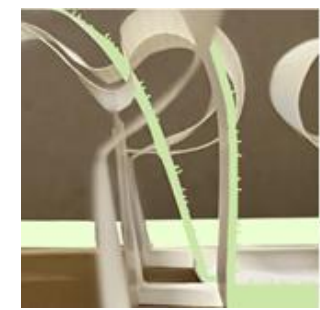
身体：目線が高くなり、見える景色が変わる
精神：幼少期の頃とは異なる捉え方を発見できる

【幼少期】



例：抽象的な線と直線のデザイン
動物の形に見える

【今】



など

●家族構成

父（45） 彫刻家 趣味：読書
母（42） 画家 趣味：ガーデニング
兄（10） 趣味：工作、運動
妹（6） 趣味：絵を描くこと

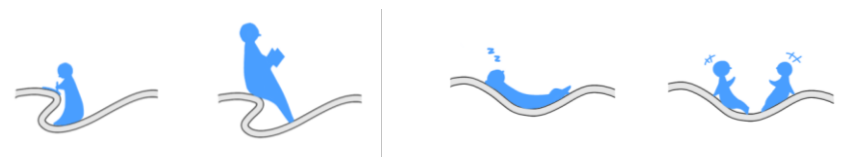
●子供の創造力を育む

- ・【ぐにやり】、【ふにやり】とした独特のうねり
→子供の想像力を働かせる
- ・うねりによって生み出された空間
→自然の子供の遊び場となる
- ・半屋外、屋外、多くの軽井沢の木々
→軽井沢の自然を感じながら生活する

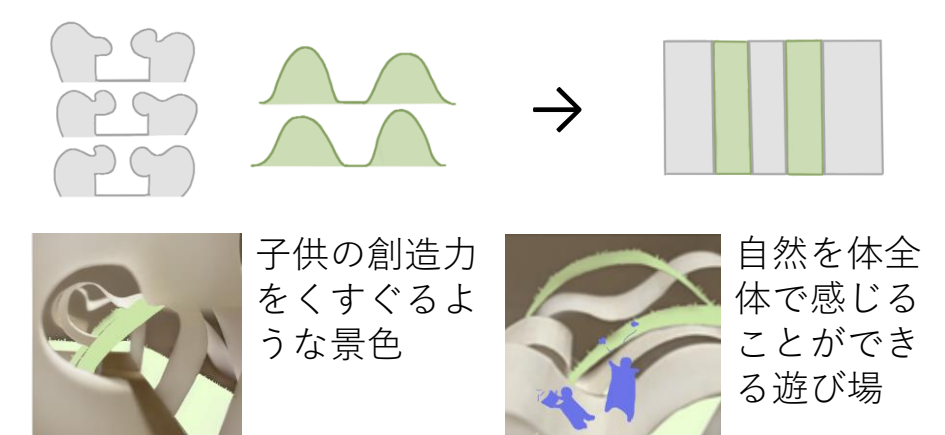
●【ぐにやり】と【ふにやり】

→椅子、机となる

→遊び場、寝床となる



【①、③、⑤のうねり②、④の浅間山の重なり】



●自然とうねり



家の周りにある木々の
落ち葉がうねりの溝に
たまる



たまった落ち葉を使っ
て作品を作ったり、遊
んだりできる。